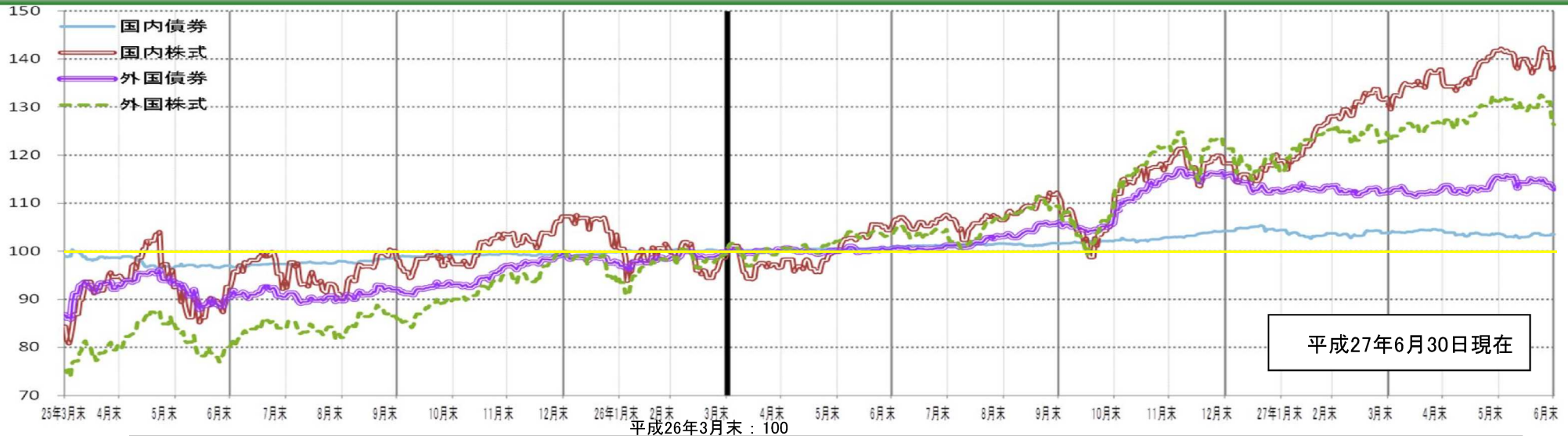


内外株式・債券のベンチマーク推移



資産区分	ベンチマーク	平成24年度		平成25年度				平成26年度				平成27年度
		3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	
国内債券	NOMURA-BPI/Ladder 20年	163	159	162	162	164	166	167	171	170	170	
国内株式	TOPIX(配当込み)	1,374	1,508	1,599	1,746	1,629	1,712	1,812	1,926	2,128	2,253	
外国債券	シティ世界国債	359	375	381	412	414	416	439	480	465	468	
外国株式	MSCI-KOKUSAI	1,567	1,664	1,783	2,076	2,076	2,142	2,272	2,519	2,564	2,623	
ベンチマークの収益率		+9.65%	+0.73%	+3.33%	+6.97%	+6.72%	+1.56%	+3.59%	+7.67%	+8.90%	+0.85%	

平成26年4月から平成27年3月までのベンチマークの動き

(出典:Bloomberg等)

- 【国内債券】** 10年国債利回りは、年初は0.65%に始まったが、6月にECB(欧州中央銀行)が追加金融緩和を決定したこと、イラク・ウクライナ情勢の緊迫化を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことにより、8月末までは0.5%前後で推移した。9月に入るとイラク・ウクライナ情勢の緊張緩和により一時上昇する局面があったが、10月には日銀の追加金融緩和が発表され国債買入れを増額したこと、さらに年末には原油価格下落等の影響で世界的にリスク回避姿勢が強まったことにより、1月に一時0.2%を下回るなど過去最低の利回りになった。その後、米長期金利の上昇を受けて0.4%前後で一進一退の展開となり年度末を迎えた。
- 【国内株式】** 国内株式市場は、9月末までは米国や中国の良好な経済指標やECBが追加金融緩和を決定したことを受けて緩やかに上昇した。10月に入ると世界経済の鈍化懸念から大きく下落する場面もあったが、その後の海外市場の反発や10月末に日銀が追加金融緩和を決定したこと、円安を背景に上昇に転じ、11月以降も消費増税先送り等でさらに上昇基調となり、年度末には約15年ぶりの水準となった。
- 【外国債券】** 米の10年国債利回りは、9月末までは2.5%前後で推移したが、10月の世界的な株安で、12月の原油価格下落等の影響によりリスク回避姿勢が強まった結果、1.6%前半まで低下したが、その後の良好な経済指標を受けて上昇に転じ、1.9%台で年度末を迎えた。独の10年国債利回りは、1.5%台で始まるも、2度のECBの追加金融緩和決定やイラク・ウクライナ情勢の緊迫化、ギリシャの政局不安により、年度来より低下し続け、過去最低の利回りとなる0.18%で年度末を迎えた。
 為替は、ドル/円は8月末まで102円を境に一進一退の展開が続いたが、9月のウクライナ情勢の緊張緩和や10月末の日銀の追加金融緩和決定により、7年ぶりに120円台となり、そのまま年度末を迎えた。ユーロ/円も130円台後半で推移していたが、10月末の日銀の追加金融緩和決定等より一時150円手前まで大幅な円安となった。その後はギリシャの政局不安や2月のECBの量的金融緩和決定により円高ユーロ安となり、120円台後半で年度末を迎えた。
- 【外国株式】** 米は、イラク・ウクライナ情勢の緊迫化や10月の世界経済の先行き不透明感、12月の原油価格下落等の影響により、一時下落する局面はあったものの、良好な経済指標が好感され、年度を通じて概ね上昇基調となった結果、過去最高の水準で年度末を迎えた。独は、年内は弱含みの展開となったが、年明けにギリシャの政局不安が解消されたことや、ユーロ安によるユーロ圏の景気回復期待が高まった結果大きく上昇し、過去最高の水準で年度末を迎えた。

平成26年度 長期給付積立金の運用状況(平成27年3月末現在)

1 資産構成割合の推移

	平成26年3月末		平成26年6月末		平成26年9月末		平成26年12月末		(単位:億円) 平成27年3月末		(参考) 基本ポートフォリオ	
	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	中心値	許容乖離幅
国内債券	60,839	60.8%	61,039	62.7%	60,929	60.7%	61,992	60.7%	61,541	58.4%	63%	±6%
国内株式	13,498	13.5%	13,189	13.5%	13,974	13.9%	14,831	14.5%	16,429	15.6%	12%	±5%
外国債券	5,516	5.5%	5,545	5.7%	5,819	5.8%	6,396	6.3%	6,196	5.9%	5%	±3%
外国株式	11,461	11.5%	11,047	11.3%	11,269	11.2%	12,581	12.3%	12,806	12.2%	9%	±5%
貸付金	2,957	3.0%	2,653	2.7%	2,546	2.5%	2,456	2.4%	2,350	2.2%	6%	±3%
短期資産運用等	5,803	5.8%	3,926	4.0%	5,781	5.8%	3,836	3.8%	6,045	5.7%	5%	±2%
合計	100,074	100.0%	97,399	100.0%	100,318	100.0%	102,093	100.0%	105,367	100.0%	100%	—

注 それぞれの項目は、単位未満について四捨五入しているため、必ずしも合計と一致しない。

2 運用状況

〈修正総合利回り〉

	平成26年度第1四半期 (4～6月)	平成26年度第2四半期 (7～9月)	平成26年度第3四半期 (10～12月)	平成26年度第4四半期 (1～3月)	平成26年度通期 (4～3月)
国内債券	+0.74%	+0.48%	+1.54%	△0.41%	+2.35%
国内株式	+5.03%	+5.95%	+6.19%	+10.41%	+29.71%
外国債券	+0.49%	+5.34%	+9.25%	△3.12%	+11.77%
外国株式	+3.01%	+5.77%	+11.26%	+1.88%	+22.51%
貸付金	+0.60%	+0.60%	+0.60%	+0.58%	+2.39%
短期資産運用等	△0.03%	+0.15%	+0.22%	△0.02%	+0.34%
合計	+1.50%	+2.06%	+3.65%	+1.30%	+8.66%

(参考)

平成25年度
+0.72%
+17.70%
+14.48%
+31.62%
+2.39%
+0.20%
+6.64%

$$\text{修正総合利回り} = \frac{\text{実現損益} + \text{未収収益増減} + \text{評価損益増減}}{\text{簿価平残} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益}} \times 100(\%)$$